

「ゆめをかなえるには……」

世界の子どもたちの中には、学校へ通うことができない子どもがたくさんいます。マララが住んでいるパキスタンの子どもの中には、ごみの山からビンや金ぞくをひろって、家族の生活を支えるために学校へ行けない子どもや、ぶきを持った男たちが「女は外で働くな。女を学校へ行かせるな。」とおどしているのです。こわくて学校へ行けない子どもがいます。マララが住んでいる国は、そういう子どもがいる国です。

私が住んでいる日本は、子ども全員が学校へ通うことができます。(中略)私が通っている学校は、楽しくて安全です。私が登校中にころんで、おでこから血がポタポタとたれるくらいの大けがをして泣いていると、そこへ見守りたいの方が来てくれ、学校と家に連れらしてくれました。すぐに声をかけてくれたので、私はとてもうれしかったです。このように、地いきの見守りたいの方々や先生方が、私たちを守ってくれています。(続く)

※十一月十七日・十八日 流山エルスにおいて市図書館・習字・読感文作品展が開催されます。前述の作品(一部)をはじめ力作ばかりです。